広い視野と高い志を持ち、「共生社会」を創造的に生き抜く子どもの育成

“郷土Yamagata”を基盤にした「グローバル シティズンシップ教育」の推進

山形大学附属学校園では、一人 一人の幼児・児童・生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となれる資質・能力を育む教育を進めます。

■目標具現化のための特色ある5つの教育活動

01 ICTを活用し探究的に学ぶ力を高める教育

02 郷土愛を基盤にSDGs（持続可能な開発目標）を踏まえた教育

03 グローバル化に対応できるコミュニケーション能力を高める英語教育

04 共生社会を築くインクルーシブ教育

05 個性を尊重し伸ばす教育

特別支援学校及び幼稚園、小学校、中学校と一体的な学校園としての教育を進め、中学校（特別支援学校高等部）卒業時にはこんな生徒に育てます。

探究的に課題解決できる生徒

共生社会の中で多様な他者と協働できる生徒

社会参画意識を持ち、郷土の発展を願う生徒

遊び込む姿＝探究の基礎

遊びから探究的な学びへ

ICTを活用した探究的な学び

協働的な学び＆個別最適な学びの実施

GIGAスクール

特別支援学校は、学校の特色、個の実態を考慮し、上記5つの教育活動から必要なものを選択し、めざす生徒像を掲げた教育を推進します。

●附属学校園コミュニティ・スクール

1. 「学校運営協議会」は附属学校園全体で設置し、運営部及び各学校代表者の他に、大学関係者、地域の教育行政関係者、有識者、同窓生、PTA等で構成します。
2. 各学校園では「附属学校運営協議会」の下部組織として、「学校運営サポート協議会」を設置し、学校運営を支援する仕組みの協議と支援活動を実施します。

●学級規模・指導体制の改善

1. 山形県内の状況に準じた少人数学級を実施します。
   幼稚園：教員一人あたりの園児数を県平均に近づけます。（13.86人→8.59人へ）
   小学校：80%が29人以下で、25～29人が34%と最も多くなっています。
   中学校：99%が33人以下で、25～33人が89%を占めています。
2. 小学校高学年の「一部教科担任制」の実施・教職員定数、加配教員、講師等を整理しながら、高学年「理科」「外国語科」等の教科担任制を実施します。
3. 小学校、中学校に通級指導教室を設置します。

◆次代が求める先導的な研究を進め、地域の教育に貢献します。

1. 教育フォーラムや学習指導研究協議会、授業づくり研修会を通して、地域の教員と共によりよい授業、保育等を追求し続けます。
2. 一人一人の教員の資質・能力を高め、子どもに還元すると共に、出前授業や研修会の講師を通して地域の学校に貢献します。
3. 学校経営や組織運営、カリキュラムや授業等、地域の学校や教員が閲覧し、学べるホームページを創り、更新していきます。
4. 附属学校研究協力者等の組織をつくり、オンラインを通じた交流を進めます。

◆教員を育てる、教員が育つ、教員が学べる学校にします。

1. 小白川キャンパス3学部及び基盤教育等と連携した共同研究体制を構築し、附属学校園の5つの教育活動を推進していきます。
2. 山形大学との連携を強化し、山形県教員「指標」を踏まえた教育実習プログラムを作成、実施し、地域の教育実習協力校へ提供します。
3. 山形県教員資質向上協議会と連携し、教員「指標」に基づく教員の養成・研修等を一体的に進めていきます。
4. 山形県教育センターや山形市総合学習センターと連携し、教員研修プログラムを開発します。

附属学校園の将来構想